



「駅トイレ・リニューアルPROJECT」

3年間で43駅・46カ所に対象拡大
さらに多くの駅トイレをキレイに

南海電気鉄道株式会社（社長：遠北 光彦）では、駅トイレの設備などに関するお客さまからの様々なご意見にお応えするとともに、取組みの周知を進めて当社駅施設のイメージ向上を図るため、2018年4月から「駅トイレ・リニューアルPROJECT」を展開しています。

2018年度から取り組んでいる中期経営計画「共創136計画」における「選ばれる沿線」に向けた施策の一つとして、2018年度からの3年間で、約12億円で36駅・40カ所の駅トイレのリニューアルを予定しておりましたが、この度計画を見直し、約14.5億円で43駅・46カ所に対象を拡大することとなりました。

詳細は以下のとおりです。

1. リニューアル実施箇所

3年間で43駅・46カ所

※現時点での予定であり、変更する場合があります。

の箇所は、新たに対象とした駅です。（前回発表時に未定であった駅を含みます。）

(1) 2018年度実績（14駅・14カ所）

新今宮駅、粉浜駅、堺駅（南口）、春木駅（東口）、岸和田駅（中央口）、井原里駅、みさき公園駅、りんくうタウン駅、西ノ庄駅、二里ヶ浜駅、磯ノ浦駅、我孫子前駅、下古沢駅、極楽橋駅

(2) 2019年度（14駅*・16カ所）

岸里玉出駅（岸里口、玉出口）、住ノ江駅、石津川駅、岸和田駅（南口）*、貝塚駅、吉見ノ里駅、尾崎駅、中松江駅、八幡前駅、初芝駅、大阪狭山市駅（東口、西口）、金剛駅、千代田駅、高野下駅

※岸和田駅（南口）は、リニューアル実施駅数のうち、2018年度実績として算入

(3) 2020年度（16駅・16カ所）

今宮戎駅、七道駅、忠岡駅、和泉大宮駅、蛸地蔵駅、二色浜駅、樽井駅、紀ノ川駅、東松江駅、汐見橋駅、住吉東駅、沢ノ町駅、百舌鳥八幡駅、中百舌鳥駅、萩原天神駅、林間田園都市駅

2. 投資額

3年間で約14.5億円

ご参考

<リニューアル実施箇所事例>



岸和田駅（中央口）（左：出入口 中：女子トイレ 右：女子トイレパウダーコーナー）



みさき公園駅（子供トイレ）



新今宮駅（女子トイレ）

<過年度実施箇所>

(1) 2016年度（4駅・4カ所）

難波駅（南口）、天下茶屋駅、鳥取ノ荘駅、紀見峠駅

(2) 2017年度（12駅・12カ所）

堺駅（東西口）、北助松駅、春木駅（西口）、鶴原駅、和歌山市駅、加太駅、堺東駅、北野田駅、天見駅、千早口駅、紀伊清水駅、学文路駅

「駅トイレ・リニューアルPROJECT」について



駅トイレの快適性や利便性について多様な視点から検討できるよう、2016年に運輸部門と技術部門の男性・女性社員、若手からベテラン社員まで多岐に渡るメンバーで構成するチームを立ち上げ、デザインや設備仕様の検討を行っています。2018年から当プロジェクトを展開し、さらにリニューアルを推進しています。

当プロジェクトを発信する左記のマークは、漢字の「駅」とリニューアルを意味する「Re」を組み合わせ、シンボル化したものです。

以上